

広 報

ふじかわ

6 月号

昭和62年 6 月 1 日 発行

No. 3 1 1

町 の メ モ

昭和62年 6 月 1 日 現在	
人 口	16,935人
増 減	+10人
男	8,352人
女	8,583人
世帯数	4,424世帯
面 積	31.09km ²

富士川町 総務課

思いきりすべろう
岩淵保育園 富士川堤にて



さわやかな風の中を
元気に遊ぼう



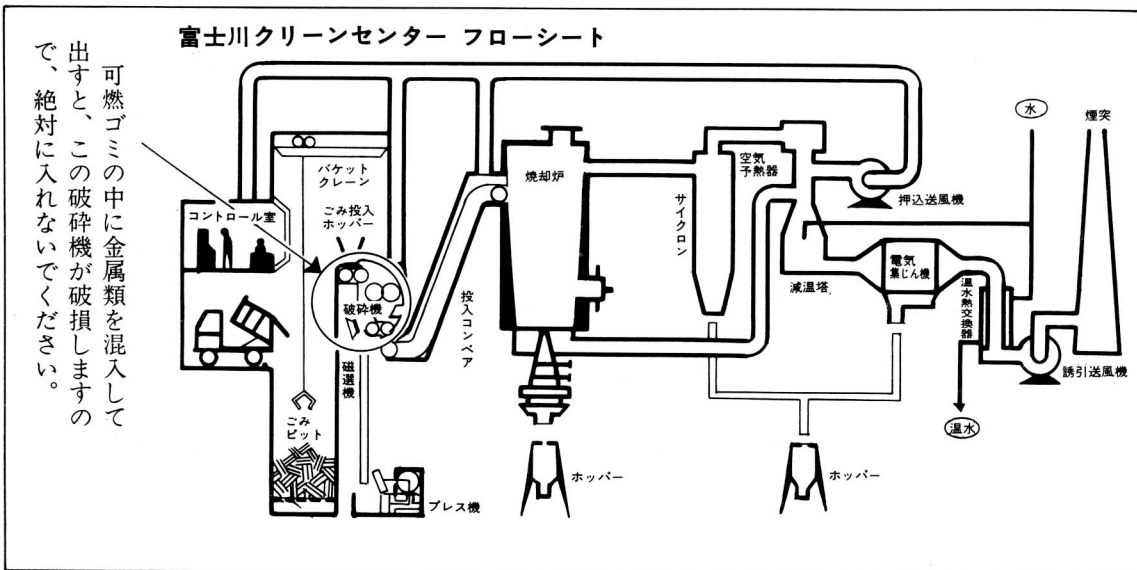
沢ガニさんごにいるの
第一幼稚園 小池川上流にて



みんな木の上に登ろう
第二幼稚園 園庭にて

町のここの目標

「健康な心とからだで住みよい町に」



みなさんが集積所に出したごみは、収集車で運ばれ、富士川クリーンセンターで毎日、焼却されています。

このクリーンセンターは、焼えるごみを対象に処理する施設です。みなさんが燃えるごみを出す時に、ガラスや金属類を袋の中に入れてしまうと、そのままゴミピットに入ってしまうので、この施設は、ごみピットに入ったごみをそのまま焼却炉で燃やすのではなく、焼却する前に破砕機でこまかくするので、燃えないものが混入していると、破砕機の刃が切れなくなってしまうたり、焼却炉に残渣として残り、燃焼効率が低下し、日常の運転に支障をきたしてしまいます。ごみは休みなく搬入されてきますので、一日も運転を止めることはできません。

特にお正月や連休明けに、みなさんから出されるごみは、焼却炉をフル回転させなければならぬ量の量となります。このような時に、機械に支障をおこさせないために、燃えるごみの中には燃えないものを入れないで下さい。

クリーンセンターは庵原郡三町で組織する庵原郡環境衛生組合でおこなっている広域行政施設です。効率的・経済的の経営を維持するために、是非みなさんのご協力をお願いします。



クリーンセンターからのお願い

みなさんが集積所に出したごみは、収集車で運ばれ、富士川クリーンセンターで毎日、焼却されています。

このクリーンセンターは、焼えるごみを対象に処理する施設です。みなさんが燃えるごみを出す時に、ガラスや金属類を袋の中に入れてしまうと、そのままゴミピットに入ってしまうので、この施設は、ごみピットに入ったごみをそのまま焼却炉で燃やすのではなく、焼却する前に破砕機でこまかくするので、燃えないものが混入していると、破砕機の刃が切れなくなってしまうたり、焼却炉に残渣として残り、燃焼効率が低下し、日常の運転に支障をきたしてしまいます。ごみは休みなく搬入されてきますので、一日も運転を止めることはできません。

特にお正月や連休明けに、みなさんから出されるごみは、焼却炉をフル回転させなければならぬ量の量となります。このような時に、機械に支障をおこさせないために、燃えるごみの中には燃えないものを入れないで下さい。

クリーンセンターは庵原郡三町で組織する庵原郡環境衛生組合でおこなっている広域行政施設です。効率的・経済的の経営を維持するために、是非みなさんのご協力をお願いします。

清掃手数料

可燃・不燃物	1～2人世帯	月額	100円
	3人以上世帯	〃	200円
不燃物みの場合	人数に関係なく	月額	100円

手数料の納期を忘れずに

町では、ごみの処理について、各家庭より清掃委託届けを提出していただいて、九月と三月(年二回)に左の表のように手数料を徴収しています。

支払方法は、町指定の金融機関で支払う一般納付と、銀行口座振替による方法があります。

口座振替をご利用の方は、預金通帳及び印鑑を持って、銀行で手続きをして下さい。

手数料は、納期を守って、忘れずに納めて下さい。

今、ごみの現状は 不燃物コンテナ収集始まる



ごみは毎日、みなさんの家庭から出てきます。近年このごみの量は、年々増える傾向にあり、また、ごみの種類も多様化かつ複雑化しているのが現状です。

そこで町は、四月から不燃物のコンテナ収集を行っていただきます。これは、ごみの減量化とごみ集積所のごみ散乱を防止し、よりきれいな町づくりを目指す目的で実施されたものです。

本号ではごみの現状についてみなさんと一緒に考えてみましょう。

- 不燃物のコンテナ収集は右図のように、色分けされたコンテナに、それぞれ分けて出してください。いくつかの注意していただく点があります。
- 黄色コンテナ
 - びんの中味を除き、びんのふたをとって、横に並べて入れて下さい。
 - 蛍光灯など長い物はコンテナの横に置いて下さい。
 - 青色コンテナ
 - このほか、各家庭に配付いたしました、年間計画表に、細かく記載してありますので、よくごらんになり、収集に是非協力下さい。

「青色」コンテナ	<p>ビールびん、ウィスキーびん、ジュースびん、びん、しょう油びん、天ぷら油びん、サラダ油びん、割れびん、板ガラス</p>
「黄色」コンテナ	<p>陶器類、電球・鏡、網入ガラス、化粧びん、種木鉢</p>
金属類	<p>コンテナに色分けなし</p> <p>ビールかん、ジュースかん、缶詰かん、スプレーかん、その他のかん、一斗かん、なべ・やかん類、トタン板、自転車</p>

燃えるごみを出す前に こんな工夫を

富士川町で搬出した61年度のごみの量は、60年度に比べ400トン近く減量されています。みなさんがごみ減量について、真剣に考え、創意工夫された成果です。今年度もなお一層、みなさんの協力で、富士川町から出されるごみが減量できるように、例をあげてみます。

第一に、燃えるごみと燃えないごみを完全に分けて出すことです。ガラスや鉄類が混入すると、その重量が加算されてしまうからです。

第二に、台所からのごみの水切りをすることです。ごみを分析してみますと、種類別では台所のごみが50%を占めます。ですからこの水分を取り除けば、大きな減量になります。



まちの広場

こぐま座の人形劇に 中央公民館ホール満員



人形たちが客席に下りてきて
ごきげんな子供たち

しさを分かち合っていました。休憩時間に会場のお母さんたちに感想を聞いてみますと、「前回の公演がよかったので、また来ました」

「出演者と会場の人々が一体化し、歌や踊りもいっしょにできて、子どもにも楽しい思い出が残りました」

「家が松野なので、このような公演がないと、この施設を利用できないので、いろいろな企画をこのホールを使用して、立ててください」など、この企画が着々と浸透している様子です。

幕が降り、親も子どもも顔に笑みを浮かべ、手をとり合いながら、会場を後にしていきます。

町文化事業振興会、富士川町、教育委員会主催（町文化協会後援）の劇団こぐま座の人形劇「ンゼルとグレートル」の公演が、5月10日（日）中央公民館ホールで行われました。

当日ホールは約五百人の親子で満員となり、幕があくと同時にグリム童話のメルヘンの世界に引き込まれ、子どもたちがあたたかも主役になったかのようになり、人形たちに心を奪われまし

た。このこぐま座の公演は、富士・富士宮に行かなければ、いままでは見られませんでした。建設された中央公民館で、親子が対話のできる一日になればと、昨年の八月に「三匹の子ぶた」が初演されたのに続き、今回で二回目の公演となります。

会場には歌・踊り・笑いがあるふれ、人形たちが客席に降りて握手をしたり、終始和やかな雰囲気、人形と子どもたちが楽



楽しい踊りも見ました

みんなといっしょに 勉強しよう まきの木大学開講



これからみんなで楽しみましょう

昭和62年度まきの木大学開講式が、5月14日（木）午前九時半から中央公民館ホールで、三百八十人の受講生を集め、行われました。

開講式には、常葉雅文町長、芦川清司県議会議員の祝辞があり、運営委員長の桐谷定雄氏があいさつし、前年の委員長小林数馬氏に感謝状が送られ、閉会しました。

この開講式に引き続き、常葉町長の「昭和62年度の町政について」、蒲原警察署交通課長榎田昌男氏の「日常の交通事故防止」の講演が行われました。

まきの木大学は、高齢者が自分の時間を大切に、趣味を生かし、教養を高める学習を通して、心と体を健康に保ち、現代に適應した生き方を考えることを目的としています。活動は、年十二回の全体学習を中央公民館ホールで行い、11クラブの自主活動は多目的室や和室をつかって行います。クラブには、ハイキング・放談・生け花・フラワーデザイン・盆栽・舞踊・

「盆栽クラブで勉強した事を、家庭の盆栽づくりに生かしたい」相生町 斉藤一男さん

「若いころ、戦争などで何もできなかった分を、生け花、大正琴、書道などに入り、多くの友達を作り、今から青春をとりもどしたい」堺町 若月かほるさんと、それぞれ意欲満々に話されています。

町行政相談員 斉藤静晴さん 中部管区行政監察局長表彰を受彰



斉藤静晴さん (旭町)

5月12日（火）、静岡市役所で開催された「六十二年度行政相談委員全体会議」の席上、町の行政相談委員の斉藤静晴氏が中部管区行政監察局長表彰を受彰されました。

受彰にあたり「他の先輩をおいて、この表彰を受けることは、誠に申し訳ない感じがします。これからの行政のあり方について、申し出人の苦情を素早く解決できるように、人権擁護委員の先輩たちに助けられながら、がんばっていきたく思います」と話されています。

富士川町出身の大嶽康子さん ナイチンゲール記章を受彰



大嶽康子さん (〇)

富士川町出身で日本赤十字武蔵野女子短大教授、大嶽康子さんが、このほど第三十一回フローンレンス・ナイチンゲール記章を受章しました。このナイチンゲール記章は、看護婦に与えられる最高

の荣誉で、国際赤十字の選考委員会が一年おきに世界で約五十人の看護婦を選んで贈るもので、日本人受章者は、今回で七十七人になりました。

大嶽さんは、富士川町宗清寺の前住職、故・賢宗師の三女として生まれ、戦前・戦後を通じて医療看護活動に従事し、六十年四月から現在の大嶽教授の職にあります。

野田山健康緑地公園 大勢の人のくつろぎの場に



早く孵化しないかな

昨年オープンした野田山健康緑地公園は、豊かな自然と恵まれた眺望、親しみやすいレクリエーション施設が好評で、町内からも多岐の人々が訪れる様になりました。

今月号ではこの公園の近況をお知らせします。

開園以来この公園を訪れた人の数は、町で把握しているだけでも四千人近くにのぼり、憩いの場所としてすっかり定着した感があります。緑の濃くなるこの頃は、自然美を満喫しようと、日曜日ともなれば、金丸山広場には、家族づれや隣近所のグループでにぎわい、バーベキューなどを楽しむ姿がみられます。この五月の連休は、金丸山広場の駐車場には車があふれ、燦々とふりそく陽差しの中で、バーベキューに舌づつみを打つ人や、ボール遊びに興ずる子どもたちで終日賑わいました。

健康緑地公園の名前のとおり

極力生かされた自然は、モリアオガエルの産卵場所となっていて、今年もすでに大師広場の池の回りには、白い泡状の卵塊が、五十個以上も見ることが出来ます。

この広場の横にあるアスレチックは、小さい子どもたちに人気があり、ターザンごっこや木渡りに歓声が聞こえてきます。

又一日ハイキングを楽しむ人達は、この公園内のハイキングコースを歩き、万葉の広場や展望台で、野草の花をみつけたり、野の鳥の声を耳を傾けながら、駿河湾から富士山までの大パノラマを手にとることが出来ます。

町では、これからも一年を通じて一人でも多くのご来園をお待ちしています。

親子で楽しむ読書 「お母さんの勉強室」開講



お母さんも勉強します

中央公民館の公開講座「本好き子どもを育てるお母さんの勉強室」の開講式と第一回の講座が5月13日（水）に行われました。この教室は、十月まで九回の学習が予定されており、五十人のお母さんたちが多目的室に集まり、熱心にノートを取っていました。

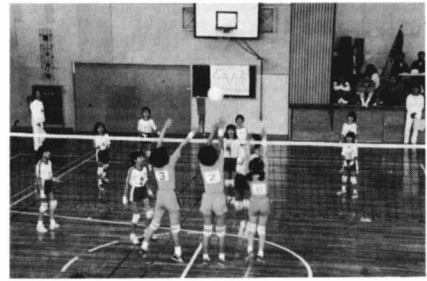
講師の清水達也先生は、県子どもの本研究会会長を務め、この講座の中で「お母さんは、子どもの読書の興味がどのように変っていくか知っておく必要があります、その子どもに合った本を選ぶことが大切です」と話されています。

健康緑地公園の名前のとおり

金丸山広場で、キャンパ・バー 興課（電話0545581111）へ申し込み下さい。

子ども会球技大会 両地区で熱戦を展開

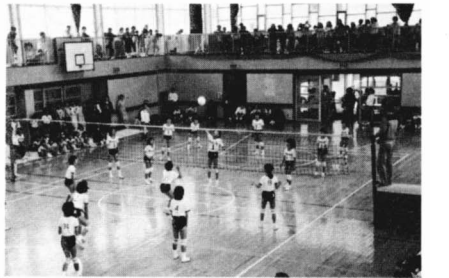
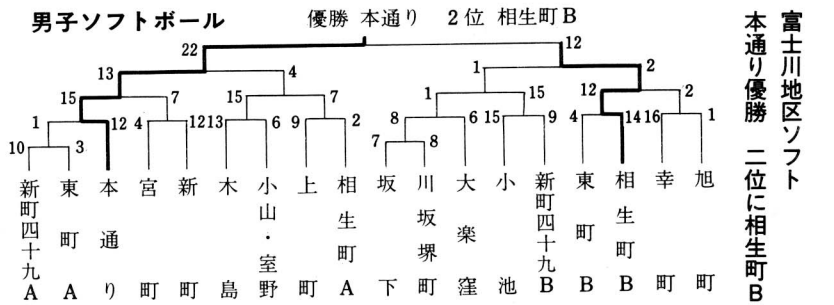
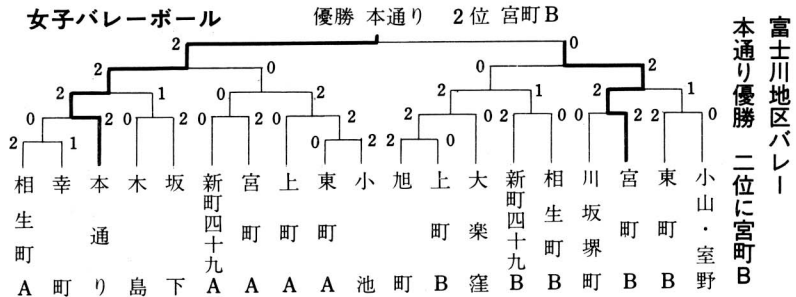
5月17日・24日の両日、各町の子ども会にとって最大のイベントである球技大会が、富士川・松野地区で行われました。この大会は、子ども会相互の親睦と交流をはかり、勝負よりも、誰もが参加できることを目的に、男子はソフト、女子はバレーが行われ、上位二チームは7月8日の郡大会に出場します。



それ、ブロック



ナイス スウィング



スパイクもします

松野地区バレー
Aコート リーグ戦
八幡町優勝 二位に南町一区

南町一区 2-1 俣下町
南町二区 2-0 富士松野B
俣下町 2-0 南町二区
富士見町 2-0 富士松野B

三位決定戦
俣下町 2-0 富士松野A

決勝戦
八幡町 2-1 南町一区
南町一区優勝 二位に清水町
A球場(第二小学校グラウンド)
八幡町 5-2 俣下町
富士松野A 14-2 大北町

Bコート リーグ戦
清水町 2-0 大北町
八幡町 2-0 富士松野A
八幡町 2-0 大北町
富士松野A 2-0 清水町
富士松野A 2-1 大北町
八幡町 2-1 清水町

三位決定戦
俣下町 2-0 富士松野A

決勝戦
八幡町 2-1 南町一区
南町一区優勝 二位に清水町
A球場(第二小学校グラウンド)
八幡町 5-2 俣下町
富士松野A 14-2 大北町



がちり守ろう

清水町 5-4 大北町
清水町 13-12 富士松野A
清水町 10-9 南町二区
南町一区 6-4 八幡町
富士松野A 6-5 南町二区
南町一区 25-7 俣下町
富士見町

C球場(第二中学校グラウンド)
南町一区 11-10 富士松野B
富士松野B 10-3 俣下町
八幡町 18-3 富士松野B
大北町 15-4 南町二区

三位決定戦
八幡町 17-3 富士松野A

決勝戦
南町一区 7-4 清水町
富士見町

春の交通安全運動

5月11日から実施される

5月11日から10日間、高齢者の交通事故防止、若年運転者の交通事故防止、シートベルト・ヘルメットの正しい着用の徹底を重点目標として、春の全国交通安全運動が実施されました。



富士川駅での街頭広報

野交差点において、交通安全協会、婦人会等の皆さんのご協力により、交通安全の呼びかけを行いました。その他、運動期間中、まきの木大学での交通講話、シートベルトの正しい着用指導、二輪車指導、夜間駐車違反防止パトロール等を実施いたしました。この運動期間中の町内での、交通事故発生件数は、1件でしたが、交通事故全体では、昨年同期に比べますと大巾に増加しています。事故の態様としては、二輪車及び老人に起因するものが多くなっているようです。「ゆずりあう心が無事故の第一歩」のスローガンのゆずりあいの気持ちを大切に、交通安全に努めましょう。特に交通弱者の方には配慮を。

5月の交通事故

人身事故	3件(6)	合計11件(9)
物損事故	8件(3)	
富士川身延線	3件(2)	
国道一号线	5件(4)	
町道	3件(3)	
県道	0件(0)	
その他	0件(0)	

()は昨年



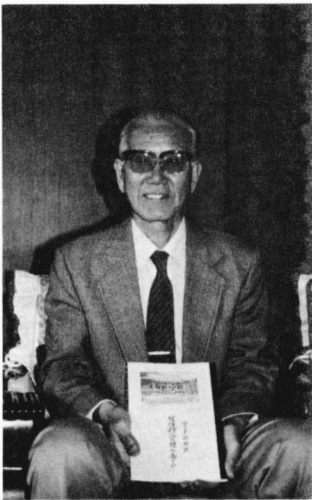
シートベルト指導

記録は歴史につながる

田村さん宇多利神社の歴史つづる

本通りの田村重雄さん(七〇)はこのほど「宇多利神社護持管理の歩み」(B四版、九八ページ)を自費出版しました。田村さんは昭和五年から教壇に立ち、四十三年に由比中学校長を退職し、町の公民館長の職を十年間務め、その後、宮町にある宇多利神社の氏子総代兼事務長を昨年の七月まで務めました。

(現在の科学技術の進歩は、社会構造を複雑かつ多様化し、この恵まれた豊かな時代に育つ若い世代は、敬神観念が薄れがちになってきている。しかし日本の昔からの社会通念として神仏の尊厳を意識した生活は大切だと気付き、このことから郷土の神社



冊子を手にもつ 田村先生



戸籍の窓

S 62・4・15〜5・14届出分
(敬称略)

おめでた

区名	氏名	保護者	続柄	堺町	望月海穂	俊州	長女
木島	佐藤智之	善彦	長男	川坂	眞里奈	正隆	長女
木島	鈴木詩織	克典	長女	四十九町	富澤宏徳	恒雄	二男
小山	井上憂哉	昭彦	長男	大楽窪	望月来夢	康男	二男
相生町	清水香世	文夫	長女	南町二	望月穂高	京一	長男
				八幡町	稲葉隆一	知	長男
				清水町	小池知也	義徳	二男
				清水町	石川瑞希	利信	二女

かなしみ

区名	氏名	年齢	坂下	下瀧	しげ	九六
坂下	池谷治巳	五七	宮町	小山浩司		五〇
小池	大石律雄	五八	東町二	植松きよの		八六
南町二	望月和雄	四八	南町二	望月和雄		四八
富士見町	清水その	九四	富士見町	清水その		九四
富士見町	井出馨	五二	八幡町	上田達男		六五
大北町	蓮池隆義	八一				

お母さんの知恵袋

くらしの中のお茶

新茶といえはすぐ八十八夜、新茶は香り、色、味とたのしめます。新茶でなくても、それぞれのお茶の性質を大切に扱えばおいしくいただけます。

玉露でしたら、ぬるい湯で甘味を楽しみ、玉露に煎茶をたして冷たい水で冷茶に、又煎茶は少し温度を下げて一煎、熱い湯で二煎とすれば二度おいしくいただけます。番茶は沸騰した湯に入れて下さい。

煎茶道では、番茶は焙じ器で香りが出る迄焙じます。焙じた茶葉を急須に入れ、その急須を火にかけて、一煮立ちしてから茶碗にて進めます。これ等お茶を楽しむ形だと思えます。

日常茶飯という言葉通り、お茶は食事に欠かせないものです。食後に飲むお茶、仕事の合間の一杯のお茶、そして来客に、お茶は知らず知らずのうちに、人と人のふれあいのなかで大切なと思います。同じお茶をいただくのなら、少しでもおいしく入りたいものです。

5月号「戸籍の窓」の「おめでた欄」で、八幡町の森隣太郎ちゃんを隣太郎ちゃんに「かなしみ欄」で舟山町の斉藤初男さんを政雄さんに、旭町の斉藤政雄さんを初男さんと誤って掲載しました。深くおわびし訂正させていただきます。

町への寄付金 (敬称略)

S 61・3・10〜3・20

社会福祉事業へ
十万円

渡辺 勝 (新町本町)
八千九十八円

公園事業へ
第一小学校六年三組一同
十万円

井上文庫へ
富士川製紙㈱

おわび

5月号「戸籍の窓」の「おめでた欄」で、八幡町の森隣太郎ちゃんを隣太郎ちゃんに「かなしみ欄」で舟山町の斉藤初男さんを政雄さんに、旭町の斉藤政雄さんを初男さんと誤って掲載しました。深くおわびし訂正させていただきます。

富士川短歌会

5月詠草 (天野寛選)

上町 望月 晴子
潜望鏡の如く首出す鶉の鳥の北国の海にただよっている

小池 佐藤 ちよ
さわやかな薬用浴剤匂ひたつ湯舟に長く病む足沈む

四十九町 塩川 恒子
精込めてみかん接木する畑に堰堤工事のブルドーザーは響く

四十九町 入月 弘子
病院に見舞う帰りの土手道にライラックの花しづかに咲けり

相生町 望月 侑子
微風に五月のかおりのせてくる山峡の若葉日にかげろいつつ

相生町 川口 久代
あざやかにフェンスの外の花の列師とたのしげに手入れますら

舟山町 望月 八代
道へだて木のかけに見つ父母と住みたる家の今毀たるる

宮町 萩野 敏音
菜の花群まぶしく光る裏庭に今朝は動けぬ姑を連れ出す

南町一 佐野 節子
白内障に病みいる友を訪へば眼を見開きて誰れかと問えり

一里塚



初出勤から二カ月になろうとしている。高校の時は毎日、白球を追い続け、甲子園という大きな目標に向かってがんばってきた。でも一年生の時を思い出すと、先輩達が常に練習しやすいようにグラウンド整備やボールを縫ったり、磨いたり、バットや先輩のスパイクを綺麗にした。校舎内においても、先輩に会ったら、大きな声で挨拶し、日常どこで会っても大きな返事をしなくてはならなかった。グラウンド内では常に全力疾走で、一人

でも、もたもたしていたら部活が終わって夜遅くなるまで、先輩たちにしごかれた。御飯を食べる時も遠征のバスに乗る時も一年生は話しても眠る事も絶対できなかった。合宿の時は、もう言葉に言えないほど辛かった。とにかく、一日の練習が終わると、体力・精神共にまいってしまふ。何度も止めようと思つたが歯を食いしばつてがんばつた。それを今振り返ってみると、とってもいい思い出です。社会人一年生の今、肉体的しごきはな

いが、仕事という責任に直面している。野球で学んだ事を生かし、苦しい時は真向勝負で仕事をしたいと思えます。(久保田)